

科目名	専門基礎分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP4		
	健康支援と社会保障制度			担当教員	保健福祉事務所 専任(基幹)教員		
	公衆衛生学						
履修学年	2年	履修学期	後期	単位数	2	時間数	36
授業目標	1. 公衆衛生の意義を理解する。 2. 公衆衛生活動のプロセスを理解する。 3. 保健活動の場と役割を理解する。 4. 公衆衛生、保健を担う職種との連携・協働する意味を理解する。						
回	学習内容				方法	担当教員	
1~9	1) 公衆衛生・保健とは 2) 公衆衛生学の意義 3) 国と地方自治体の役割 4) 人口と衛生・健康の指標 5) 人口動態・人口動態、生命表、重要な統計指標				講義	専任(基幹)教員	
	6) 衛生行政と保健活動 地域保健、母子保健、学校保健、成人保健 高齢者保健、精神保健、産業保健、難病保健				講義 演習		
	7) 保健所と市町村保健センターの役割と活動 (1) パフォーマンス課題 「地域住民のヘルスプロモーションを支えること」				講義 演習		
	(2) 地域の公衆衛生活動を担う機関と働く人の役割 ① 保健所の役割 日本における公衆衛生行政の実践 ② 保健所の職員と業務、保健師の役割 (3) 地域保健を第一線で担う機関と働く人の役割 ① 市町村保健センターの役割と保健師の役割 ② 地域住民のヘルスプロモーションを支える制度と連携				講義		
10 11 12 13	① 保健福祉事務所の活動 ・ 健康推進(結核、自殺、肝炎、感染症) ・ 精神保健福祉 ・ 母子保健福祉 ・ 難病 ・ 環境(公害・大気汚染)と食品衛生 ・ 感染症対策、健康危機管理				講義	保健福祉事務所	
14~18	(4) パフォーマンス課題まとめ・発表 「地域住民のヘルスプロモーションを支えること」 公衆衛生、保健を担う職種との連携・協働する意味				演習	専任(基幹)教員	
評価規準 評価方法	課題・筆記試験 100点評価						
テキスト および 参考文献	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生学 (医学書院)						
履修上の注 意点							